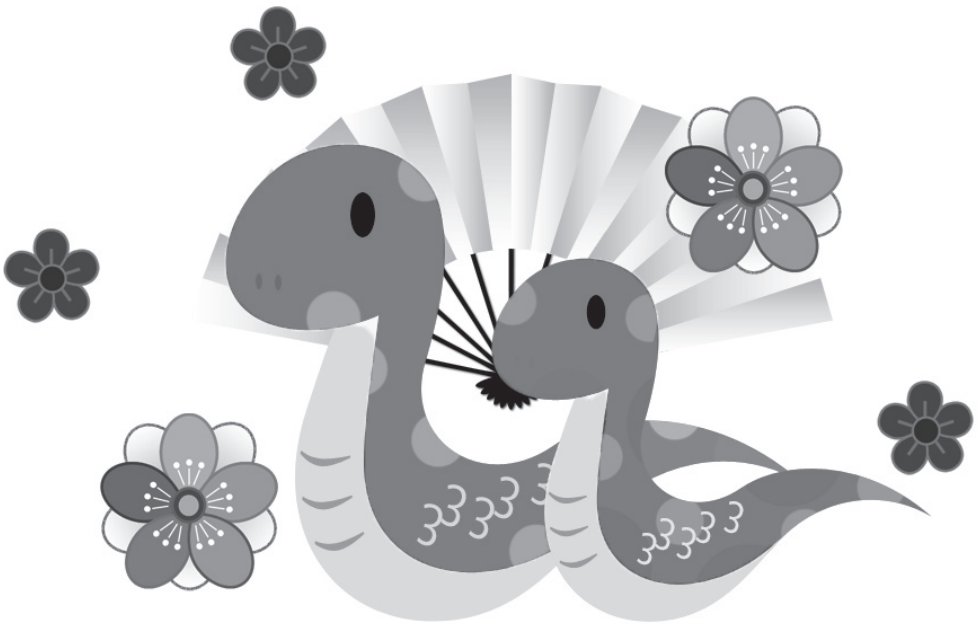
和教時報

2025年１月15日（水）発行　第2017号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

あけましておめでとうございます

2025年 本年もよろしくおねがいいたします



2024年度 沖縄全戦没者追悼式 平和の詩

「これから」

沖縄県立宮古高校3年　仲間友佑

（前略）
あの日から七九年の月日が　流れたという
今年十八になった僕の　祖父母も戦後生まれだ
それだけの時が　流れたというのに
あの日
短い命を知るはずもなく　少年少女たちは
誰かが始めた争いで　大きな未来とともに散って逝った
（中略）
人は過ちを繰り返すから　時は無情にも流れていくから
今日まで人々は　恒久の平和を祈り続けた
小さな島で起きた　あまりに大きすぎる悲しみを
手を繋ぐように　受け継いできた
それでも世界はまだ繰り返してる
七九年の祈りでさえも　まだ足りないというのなら
それでも変わらないというのなら
もっともっとこれからも　僕らが祈りを繋ぎ続けよう
限りない平和のために　僕ら自身のために
紡ぐ平和が　いつか世界のためになる　そう信じて
今年もこの六月二三日を　平和のために生きている
その素晴らしさを噛みしめながら

今年はどんな年に？

新年が始まりました。
今回も干支が巳年の方々に
今年の抱負を語っていただきました。

やってみよう！

伊都支部　隅田小分会
寺本　成希

今年の目標は「新しいことに挑戦」です。（毎年の目標なのですが）最近「線は僕をかく」という作品を見ました。大学生の僕が水墨画と出会い、水墨画を通じて人間として成長していく物語です。僕は、その主人公の何かに打ち込む姿がとても美しく感じました。影響を受けやすい僕の今年の挑戦は、水墨画をやってみたいと思っています。ひょんなきっかけですが、色んなことに挑戦していくことで、人間としての幅を広げていきたいと思います。近年、ＡＩの成長が目覚ましいですが、ＡＩに使われないためにも、人としての魅力、人間らしさ、共感力など、人間としての力を高め、ＡＩに負けない素晴らしさを持った教師になりたいと思っています。

今年の抱負

那賀支部　打田中分会
土山　卓志

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年の抱負ですが、個人的事情でいえば2月に新たに家族が増えるので、慣れない家事を手伝い、そして仕事をさらに頑張っていきたいと思います。その仕事においては、最近の教育事情の変化についていくのに必死な部分があります。端末を授業にどのように取り入れていくのか、端末を使いこなすことができたら学力が上がっていくのかなど漠然とした疑問などがありますが、自分なりの答えを見つけていきたいです。生徒たちは個々の違いがあり、担当する支援学級は運営の難しさもありますが、彼らと正面からぶつかり、向き合っていきたいです。

いよいよ四周目

和歌山市支部　さくら支援分会
前山　和磨

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は温かいご指導をありがとうございました。

私事にはなりますが、いよいよ干支も三周目を終え、四周目に差し掛かりました。これまでを振り返ると、サッカーを中心とした生活から仕事を中心とした生活に変わり、教育現場に立ち、あっという間に八年目を迎えました。サッカーボールを追いかけていた毎日から子どもを追いかける毎日に。相手選手に追われる毎日から時間に追われる毎日に。慌ただしい日もありますが、子どもたちとの関わりや同僚、先輩方との関わりはとても充実した時間を過ごすことができています。これからも巳のように辛抱強く、粘り強い性格を活かし、今後も感謝の気持ちを忘れずに学び続けたいと思います。最後になりましたが、皆様にとりまして幸多き一年となりますよう心からお祈り致します。

決意新たに！

海草支部　小川小分会
角田　弥生

二〇二五年は巳年で年女。還暦六〇歳。定年が延長され、「定年後はゆっくりするわ」等のゆるい会話を交わす雰囲気は家にも職場にもなく、昨日と同じ日々を過ごしそうだ。残りの二年間を第二の人生の準備期間にしよう！さて何から始めよう？

振り返れば、五〇歳を過ぎてからはまったアイドルグループのライブに参戦するため各地方を飛び回っていた。あの頃は毎日がずっと楽しかった。女子高生に混じりうちわを持ち歓声を響き渡らせ必死で応援した。が、五年あまりやって

今年は還暦

有田支部　田鶴小分会
北村　佐和美

私は巳年生まれだが、ヘビは大の苦手である。学校の廊下にヘビが出た時は、職員室に救援依頼して、児童が通るまでに外へ、と戦った。主に戦ったのはもう一人の職員だったが。

仕事を始めた頃から定年は六〇才だと信じていたのに、五〇代になって定年延長と聞いて混乱した。とりあえず調査書には六三才までと書いたが、自信はない。定年退職後に描いていた生活も中途半端になってしまった。

毎年、年の始めに今年の目標を立てる。今年は巳年で還暦。還暦は厄年だ。注意しながらも気にしすぎないように過ごそう。健康寿命を延ばすために体力の維持に努めよう。最近、朝五分程、家の近くを走ったり歩いたりしている。雨の日は休み。無理せず緩く続けたい。

初心

日高支部　湯川小分会
濵　裕介

気づけば三六歳。自分が学生だった頃から見た三六歳とはどんな感じだったのだろうか。頼りがいのあるお兄さんか、それともただのおじさんか。

職場には自分より若い先生も増え、自分の立場もこの数年で大きく変わった。自分が先輩にしてもらったことができているだろうか。先輩風を吹かせていないだろうか。そんなことを考える時間も増えた。学習指導に関しては、良くも悪くも慣れが出てきている。

今の私には、教師という仕事に就いた頃のような良い意味での緊張感が必要だと思う。そこで、今年の目標は「初心」とする。

大好きな大谷翔平が海の向こうで少年の如く楽しく野球をやっているように、私も教師になった頃の初心を忘れず子どもたちと向き合おうと思う。

健康を大切に

西牟婁支部　三里小分会
鳥越　良介

前の巳年から、早くも十二年が経ちました。この十二年で学校教育の状況は大きく変化しており、今後も同様だと考えられます。

この変化し続ける教育現場で働いていく中で、何が自分にとって大切なのかと考えて思い浮かんだのが「健康」であることです。

日々児童・生徒と接し、教え導く教員にとって、健康な身体は資本です。特に、自分は新型コロナの流行以降、運動不足気味となっており、体重の増加に危機感を抱いています。

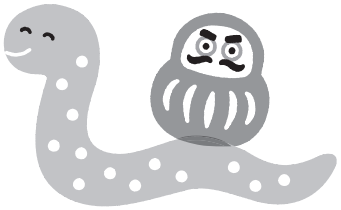
まずは、そこからどうにかしようと一念発起し、昨年末からジム通いを始めました。

今は軽い運動を行うのがメインですが、厭わずに続けることが大事と思い、まずは一年間の継続を目標に頑張っていきたいと思います。

ひとつひとつ

東牟婁支部　那智中分会
松山　歩未

今年は、何事も丁寧に行う年にしたいです。四月から、初めて東牟婁地方で勤めさせていただくことになり、慣れない部分が多くありましたが、生徒たちや先生方に教師として働く上で大切にすべきことをたくさん教えてもらい、実りある一年にすることができました。しかし同時に、仕事面、生活面ともにおざなりになってしまった点が多くありました。その反省を活かし、ひとつひとつを確実にこなしていきたいと思っています。また多くの方と関わる中で、視野が狭いことを実感したので、読書やこれまでに経験してこなかったことへの挑戦を積極的に行うことで、さまざまな考え方を身に付けることができたらと感じます。がんばります！



新教育会館名称決定！ イキシアわかやま

建設中の新教育会館の名称募集に二二人の方から応募をいただき、選考の結果、和歌山市支部紀伊コスモス支援分会の寺西有里さんが考案された名称に決まりました。

「イキシア」は花の名前で、花言葉が「団結」です。私たちの会館にふさわしい名前となりました。

ヤングジャンボリー 2月8日 御坊 開催！

青年教職員の学習交流集会「ヤングジャンボリー」、今年は御坊で行います。青年部大会のあと、「学級づくり」をテーマに学習会、そして夜は交流会です。ぜひご参加ください！

プログラム

14時～青年部大会
15時～学習会「学級づくり」
17時～交流会

場所　花ご坊

参加費（組合員）　交流会2000円、宿泊1000円

学習会だけ、交流会だけの参加もOK

※全国青年学習交流集会「TANE!」（2/1～2、大阪）、近畿ブロック青年学習交流集会（2/15～16、京都）もあるよ！

移転および移転期間中の連絡について（お知らせ）

和教組および県教育事業センターは移転のため、1/31（金）～2/3（月）の間は電話等でのご連絡ができなくなります。
ご不便をおかけしますがよろしくお願いします。

【教育事業センター所属団体】
- （公財）日本教育公務員弘済会和歌山支部
- 和歌山県教育電算センター
- 和歌山県学校生活協同組合
- （有）平和商会
- 和歌山県教職員共済会（和教共済・WKK）

自動車保険の緊急時連絡先
自動車事故　0120-272-665
ご契約など　0120-153-005

生協ギフトカードが当たる！ まちがいさがし

2つの絵で違っているのはどこかな？ ●7カ所あります●

応募方法
- ◆下の絵をコピーしてハガキに貼り、相違する箇所に赤で丸印を記入してお送り下さい。氏名・分会名も必ずお書き下さい。
- ◆〆切　1月31日（消印有効）　◆応募先　〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和教組情宣部
- ◆正解者の中から抽選で10人の方に学校生協ギフトカードを贈ります。発表は、和教時報2月15日号にて